



競輪補助事業完了のお知らせ

この度、2025年度競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。本事業の実施により、座位保持が困難なご利用者も安全快適な入浴ができ、また介護職員にとっても、入浴介助への負担軽減につながるものとなりました。

公益財団法人 JKA 様をはじめ、本事業の整備にご協力賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

事業名	2025年度 福祉機器の整備
事業内容	特殊浴槽一式の整備
補助金額	4,537,500円
設置場所	鳥取県東伯郡三朝町横手 396番地 (三朝温泉三喜苑介護老人福祉施設 1階 特浴室)
完了年月日	2025年12月17日



社会福祉法人福生会

理事長 谷口 宗弘

<自己評価1回目> ※黄色のセルをすべて記入してください。

項番	1	総事業 項目数	1
----	---	------------	---

整理番号	2025M-	204	補助事業者名	社会福祉法人福生会	事業項目名	機械振興補助事業
------	--------	-----	--------	-----------	-------	----------

別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2026	年	2	月	10	日	作成者	酒巻亜希子
-----	------	---	---	---	----	---	-----	-------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	2025年12月17日 特殊浴槽(浴槽・担架・ストレッチャー)を導入。 利用者・職員にとっても、安心・安全で快適な入浴を提供ができる環境となった。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
実施計画・体制	入札、業者選定の時期が計画より遅くなってしまい、全体的に計画がずれてしまった。 2025年12月17日特殊浴槽 納品し翌日から特殊浴槽を使用し入浴を実施した。 同日、メーカーによる取扱い説明会を実施。当日参加できない職員に対しては、動画撮影をし確認できるようにした。				3
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2025年10月導入	[達成状況] 2025年12月導入	[具体的内容] 10月導入予定だったが、全体的に計画(実施)が遅れ、12月の導入となってしまった。	3
	事業の成果・波及	[達成値] 1日あたりの特殊浴槽 使用人数:平均5~6名	[達成状況] 1日あたりの特殊浴槽 使用人数:平均 4名	[具体的内容] 介護老人福祉施設 定員70名に対し、当初 約15名の利用者は特殊浴槽を使用。 現在、特殊浴槽使用者16名。 1月に入り、施設内でインフルエンザが蔓延し入浴を中止し清拭介助で対応する日が数日あった。また、入院者も多くあり、特殊浴等使用回数が減り、目標数値が達成できなかった。	2
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] ①2025年10月20日 (又は1月20日)発行 する機関紙に掲載。 2500部配布。 ②導入後、2週間以 内にホームページに 掲載	[達成状況] ・2026年1月20日発行 の機関紙に掲載。 2500部配布。	[具体的内容] ①2026年1月20日発行の機関紙に掲載。1月末に町内地域住民(全戸)、入所者家族、法人役員、関係団体へ約 2,500部を配布した。機関紙についてはホームページにも掲載した。 また、介護老人福祉施設利用者の家族通信(新聞)に特殊浴槽導入について掲載をし、約90部を配布した。 ②12月24日ホームページに、特殊浴槽導入についての内容を公表した。	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] ①2025年10月20日 (又は1月20日)発行 する機関紙に掲載。 2500部配布。 ②導入後、2週間以 内にホームページに 掲載	[達成状況] ・2026年1月20日発行 の機関紙に掲載。 2500部配布。	[具体的内容] ①2026年1月20日発行の機関紙に掲載。1月末に町内地域住民(全戸)、入所者家族、法人役員、関係団体へ約 2,500部を配布した。機関紙についてはホームページにも掲載した。 また、介護老人福祉施設利用者の家族通信(新聞)に特殊浴槽導入について掲載をし、約90部を配布した。 ②12月24日ホームページに、特殊浴槽導入についての内容を公表した。	4
(5) 自己評価の体制	全体的に計画が遅くなり、2回の評価時期については、12月末、1月末の2回実施。 利用者には聞き取り、職員にはアンケートを実施。その後、関係者が集まり自己評価を実施。 評価結果については、2月下旬に法人ホームページに公開予定。				4

(b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	<ul style="list-style-type: none"> 補助金事業という支えがあったことで、ようやく特殊浴槽導入に踏み切ることができた。入浴はご利用者にとって日々の楽しみであり、その機会を途切れることなく提供できる環境となった。 特殊浴槽を導入したことで、利用者にとっても、介助する職員にとっても安心・安全で、快適な環境となっている。 利用者:新しい浴槽になり、ストレッチャー走行中の乗り心地が良くなった。 職員:今回導入した新しい特殊浴槽は、移動時の操作負担が大幅に軽減された。導入した担架は両側ブレーキが搭載されており、安全確保が容易になり、介助中の職員の動線もスムーズに保てるようになった。また、浴槽内のお湯の温度設定(表示も分かりやすい)ができ、増湯の際はお湯が直接に身体にあたらないような構造になって安心して介助にあたっている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに他の事業と重なり実施時期が全体的にずれてしまった。特殊浴槽一式が受注生産となっていたため、入札・業者選定を速やかに行うべきだった。 メーカーの説明の方が分かりやすい。特殊浴槽の機能を最大限に生かすため、職員向けの説明会を開催したい。 導入したストレッチャーには「ポジションナー」機能がついている。身体の状況に応じて体位の調整ができるものだが、一部の職員しか活用できていない。浴槽の操作方法や機能を正しく使い、新しい機能を最大限に生かすために、再度メーカーによる説明会を開催したい。 特殊浴槽は、定期的な消毒(週に1回)が標準化されており、浴槽・ストレッチャーの衛生管理ができている。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	<p>今回の事業内容を広報紙・ホームページに掲載することで施設の特色・魅力として広くアピールすることができた。</p> <p>引き続き、新規利用者の受入れにも柔軟な対応をしていく。</p> <p>今後も地域に必要とされる施設になれるよう、より一層の役割を果たしていきたい。</p>

【福祉機器・医療機器】